

2012年9月21日現在

天津	天津税関から輸入に関して検査を加強との通知が有りましたが、今のところ税関検査率に変化はございません。
北京	9月18日から日本発の貨物に関して、100%検査率との情報がありました。
大連	輸出入共に今のところ税関検査率に変化はございません。
青島	輸出入共に今のところ税関検査率に変化はございません。 書類チェックについては昨日同様の状況。現在、検査率に変化はないが、書類チェック(P/L、通関単等)が厳しく行われている模様。
上海 (航空)	PVG空港 輸出:異常なし 輸入:異常なし 外高橋保税区 輸出:異常なし 輸入:異常なし
上海 (海上)	税関検査等による大きな問題・混乱・遅延等は確認されていない。
重慶	税関検査等による大きな問題・混乱・遅延等は確認されていない。
武漢	日本企業関連貨物の税関検査率が上がっています。特に航空貨物は輸出入共に大部分の貨物が検査の対象となっております。海上貨物は航空貨物に比べて検査率は少ないようですが、やはり日系企業を対象として検査が発生しています。
深圳	海運輸入:特に変わった動きはなく、顧客への影響も無し。 海運輸出:輸出に関しても特に変わった動きは無し。 空運輸入:特に変わった動きはなく、顧客への影響も無し。 空運輸出:特に変わった動きはなく、顧客への影響も無し。 陸路輸入:特に変わった動きは無し。 日本顧客の貨物が福田保税区へ搬入されるときに税関から検査するとの通知があった。 しかし通関士からの情報では日本貨物限定の検査でなく、普段通りのランダム検査であるとの連絡。 陸路輸出:特に変わった動きはなく、顧客への影響もなし。
広州	海運輸入:税関からオフィシャルに日本からの貨物に対し全検査実施という通達はなし。 検査も普段通りで特に変化なし。 海運輸出:日本向け貨物への検査率は普段通り。 一つの貨物において、通関より成分分析を行うとの通知があり、完了まで約半月ほど時間がかかる見込み。 航空輸入:日本からの貨物において、厳しく検査を行うという通知はないが、実際の所は日本からの物に対し厳しく検査を実施するという方向に向っている。特に通関価格に対して更に厳しくチェックしている。 航空輸出:201